

支部役員の皆様へ

平成24年7月8日
(第1回 常委・地長会資料)
支 部 長 加藤 孝幸
競技部長 高田 直美

競技部 報告・提案 事項

1. 第47回全珠連道央支部地区対抗珠算競技大会について
大会申込者総数129名

- ◇ そろばん道央一 中村 卓磨(札幌)
- ◇ 地区対抗団体競技/小学生団体競技 優勝 札幌

※次回開催地は札幌

表彰順は競技規程に従って行う

「7」すべてのフォントに「7」は使用しない

観覧席のような選手名簿案内表示

2. 24年度全日本珠算選手権大会道央支部参加選手について(報告)

:支部推薦選手(3名)

浅野 貴広(高校・札幌) 中村 卓磨(高校・札幌) 友兼 昂(小学・札幌)

:オープン参加選手(5名)

奈良 晴洋(一般・美唄) 若松 尚弘(一般・札幌) 小澤 友稀(高校・札幌)

坂平 雄飛(中学・美唄) 友兼 蛍(小学・札幌)

(合計8名)

:都道府県対抗競技出場選手

浅野 貴広(高校・札幌) 坂平 雄飛(中学・美唄) 友兼 昂(小学・札幌)

- 練習会場についてのお知らせ

京都府立文化芸術会館

〒602-0858 京都市上京区寺町通広小路下る東桜町1 TEL.075(222)1046

8/6(月)洋室A 9:00~21:30 まで / 8/7(火)洋室A 9:00~21:30 まで

練習会場は京都固定化であれば今後道央支部として申込する

3. 都道府県対抗競技出場選手の選抜方法について

4. 第35回北海道珠算選手権大会道央支部参加選手数について(提案)

:支部最大枠数参加したい

- ・ 支部定数枠 _____ 30名
- ・ 前年度選手権者 _____ 1名 (奈良晴洋)

(合計 31名)

:部門別選手枠配分数について。(前回)

- ・ 高校生以上の部 ————— 10名+前年度選手権者1名
- ・ 中学生の部 ————— 10名
- ・ 小学生の部 ————— 10名

※ 参考

< 前回選手権入賞最低点 >		< 道央大会成績 >	
高校生以上の部	1,880 (20 位)		1,780 (10 位)
中学生の部	1,560 (19 位)		1,500(10 位)
小学生の部	1,380 (30 位)		1,080 (10 位)

3. 第35回北海道珠算選手権大会について

:日 時 平成25年1月14日(月-祝日)

:会 場 旭川トーヨーホテル

〒070-0037 旭川市七条通7丁目右1号 TEL: 0166-22-7575

:宿 泊 (道北支部幹旋) 1泊2食付 7,000円/ 1泊朝食付 6,000円

:その他 ・練習会場は準備しない。(但し、道央支部として練習会場を予約)

:大会準備は道北支部です

※大会要綱改定についての確認事項

所属名は、小・中・高・大学生は学校名を、一般は勤務先名とする。
但し、勤務先が無い場合は教場名とすることができる。

4. 平成24年度全日本通信珠算競技大会について(連絡確認)

:10月21日(日) 実施

:各地区申込及び参加者名簿 → 9月14日(金) 別紙申込書

:オープン制なので、会員外への呼びかけをする(2団体宛へ文書案内)

Q1.全日本の都道府県対抗競技選手選考について

推薦選手から選考するという決まりになっているのかどうか？そうでないのであれば、執行部で決定する事にはどうか？

選考の基準が明確でない。また、実際選考の基準を決めるのも現実的に難しい。そうであれば、執行部で決定してはどうか。

Q2. *去年は8月の総会で案内したが今年は早く案内をして締め切り(9/14)までに実数で報告してもらうこと、また、参加者名簿の提出は(9/21)とする(申込と実数の相違を防ぐため)また、去年の字数を参考にお申込下さい。また、賞状は必要枚数を請求して下さい。

交通:旭川空港 →(車 30分)→ JR 旭川駅 →(車 10分)→ 旭川市ときわ市民ホール

※ 旭川市ときわ市民ホール 多目的ホール 2 (定員-60名)

旭川市5条通4丁目 電話(0166) 23-5577

13:00~22:00 8月予約予定

旭川市民会館は予約取れず

会議内容

1、道央大会

<運営> 表彰者の座席も用意すること

観覧者用の受付を設置し選手名簿の配布をスムーズにすること
種目別の結果をこまめに記録へ運ぶこと

<総務> 短冊の用意・白布の用意・筆耕担当の内容確認(優勝と団体筆耕担当)
花無、

<記録> フォントの特殊な生徒名は予めチェックし設定しておくこと

<審査> 発表に順番は競技規定の表彰順で行うこと

数字の「7」を選手に伝えているのに大会のフォントで「7」のものがある
使用しない事

<競技> 交換採点時会場委員が忙しい時は競技委員もお手伝いする事

2、全日本について

練習会場は道央支部で手配する事(次年度以降)

3、都道府県対抗競技出場選手の選抜方法について

現行通り推薦選手の中から選考する事

4、北海道珠算選手権大会について

参加枠は従来通りとする $10+10+10=30$ 名(プラス選手権者)

5、通信大会

昨年実績を参考に実数で報告して下さい

賞状の必要枚数も必ず記入

団体について

団体の編成は在学学校所在地の地区で編成しますので、小学校 4 年生以下の部・小学校の部・中学校の部・高等学校の部で団体に参加したい場合には学校所在地のある地区でお申込下さい。ただし、個人総合だけに参加する場合には、所在地に隣接する地区大会に参加することができます。具体例を挙げますと、札幌在住で大麻高校へ通学している選手は個人総合だけであれば札幌地区で参加申込できますが、団体に参加したい時には江別地区でお申込下さいということです。